

電気保安協会 中小建設業協会 市と災害応援協定



船長雄志那覇市長と災害時応援協定書を締結した沖縄電気保安協会の我部昌宏理事長（中央）と県中小建設業協会の高良勇三会長（左）＝那覇市役所

那覇市（船長雄志市長）は六日、災害発生時に「フライ」を要請する「災害時における

る応援協定書」を沖縄電気保安協会（我部昌宏理事長）と県中小建設業協会（高良勇三会長）の二団体と締結した。応援協定書の締結は二十二団体目。協定内容は災害発生時、那覇市が同保安協会に対し、市指定施設の電力復旧の判定や管理、または施設管理者のみで応急対策が実施できないときは、協力要請ができる。同建設業協会に対しては、がけ崩れ、建築物の崩壊、崩壊に伴う障害物の除去や応急復旧作業などを要請する。

「社会貢献を果たす大変有意義な機会。災害時の電気保安に役立つよう頑張りたい」と我部理事長。高良会長は「土木建築の経験を生かしてスムーズに活動ができるよう精いっぱい努力したい」と話した。船長市長は「ライフラインの復旧を早く円滑に実施するためには、専門的知識と資機材を持つ皆さまと連携した応急体制確立が重要だ。大変頼もしい」と話した。